



GX-9900 GUNDAM X

SATELLITE SYSTEM LOADING MOBILE SUIT



GX-9900
「ガンダムX」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GX-9900 GUNDAM X



GX-9900
「ガンダムX」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は、塗装しております。

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/
 Fees accrued by your communication and connection to the internet are
another customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任となります。



0186540

GX-9900 GUNDAM X

GX-9900 ガンダムXは、旧連邦軍が開発した対コロニー殲滅用のMS(モビルスーツ)である。15年前、ひとつのスペース・コロニーが起こした独立運動を発端とする小規模な紛争は、瞬く間に地球連邦とスペース・コロニーすべてを巻き込んだ全面戦争へと拡大した。後に「第七次宇宙戦争」と呼ばれるこの戦いにおいて、宇宙革命軍は「コロニー落とし」を勧告して地球連邦に降伏を迫るが、連邦軍は徹底抗戦を選択し、決戦兵器「ガンダム」を投入する。戦況は混沌とし、ついには最悪の結果を招いてしまう。無数のコロニー落としにより地球は壊滅的な被害を受け、当時100億を誇った人口はそのほとんどが失われてしまったのだ。ガンダムXは、その戦争において連邦軍が決戦兵器として開発した機体のひとつであり、一撃でコロニーすらも破壊してしまうサテライトキャノン装備する最強のMSであった。月面の太陽光発電システムとSMW(スーパーマイクロウェーブ)によって、システムとの接続を維持している限り稼働を継続し、常時高出力の武装を運用し続けることができる。また、NT(ニュータイプ)の戦闘能力を最大限に発揮するフラッシュシステムを搭載し、無人機である複数のGビットを遠隔操作できる。これと連携した戦術を展開することで、あらゆる戦局に対応することができる。また、機体そのものの汎用性も高く、陸、海、空、宇宙の全領域でトップクラスの戦闘能力を有する。ただし、稼働させるためには「Gコン(Gコントローラー)」と呼ばれるキーデバイスが必要不可欠で、強力すぎる機体が安易に運用されないよう配慮されている。Gコンは、2本ある操縦桿の右側のスティックパーツそのものであり、機体の起動、制御キーおよびサテライトキャノンのトリガーとして機能する。本機は本来、革命軍が計画していた「コロニー落とし」への対抗策として開発されていたが、本機の完成が逆に、革命軍にコロニー落とし遂行を決意させたとも言われている。ちなみに、フラッシュシステムを搭載した「ガンダムタイプ」(最大12機までのGビットの親機)は、本機(GXタイプ)を含め3種類(GTタイプ、GWタイプ)が開発されていた。



F(フラッシュ)システム

F(フラッシュ)システムとは、NT(ニュータイプ)がもつ特殊能力を利用したインターフェイスシステムで、通常の電子的な手段に依存せずに、遠隔誘導や索敵、機体制御や適合者認証などを可能とする技術の総称である。MSなどの開発に並行して実用化されたため、それらの関連技術以外での利用法はほとんど発達していない。月面にある旧連邦軍のスーパーマイクロウェーブ送信施設へのアクセスや、サテライトキャノン搭載機の初期起動登録を行うのみならず、増幅されたNTの思念波によって「ビット」と呼ばれる無人機の制御を行うことができる。ガンダムXは、サテライトシステム搭載型の「GXビット」を最大12機まで同期して、あるいは個別に制御することが可能。同様の機能はガンダムレオバルド(GTビット)やガンダムエアマスター(GWビット)、ラスヴェート、ベルティゴなどにも採用されている。



GXビット

Fシステムに対応した無人MS。機能および武装の威力はオリジナルのGXとほぼ同じ。コックピットはFシステム専用の制御ユニットと換装され、頭部ユニットはNTの思念波にのみ同期するコントロールユニットとなっている。

STORY ストーリー

当時、100億の人口を誇った地球人類は、第七次宇宙戦争によってその99%以上が失われた。「コロニー落とし」によって核の冬が訪れ、社会システムは崩壊し、疫病が蔓延した。ようやく生き延びた人々の頭上に太陽の光が再び輝いたのは、実に終戦から5年後のことであった。そして、A.W.(アフターウォー)0015。地球環境はようやく安定期に入りつつあった。しかし、社会秩序は依然として崩壊したままであり、わずかな物資を奪い合う弱肉強食が常態化していた。そんな中、旧連邦軍と宇宙革命軍の亡霊たちが再びうごめきはじめていた……。

PILOT ガロード・ラン

戦争で死んだ父親が軍の技術者だったためメカに強く、かつてはメカニックマンを志していたが、次第にその技術でMSを奪い売り歩くようになった。ティアラを守るためガンダムXのパイロットとなり、フリーデンに身を寄せる。



組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



マーキングシールの貼りかた

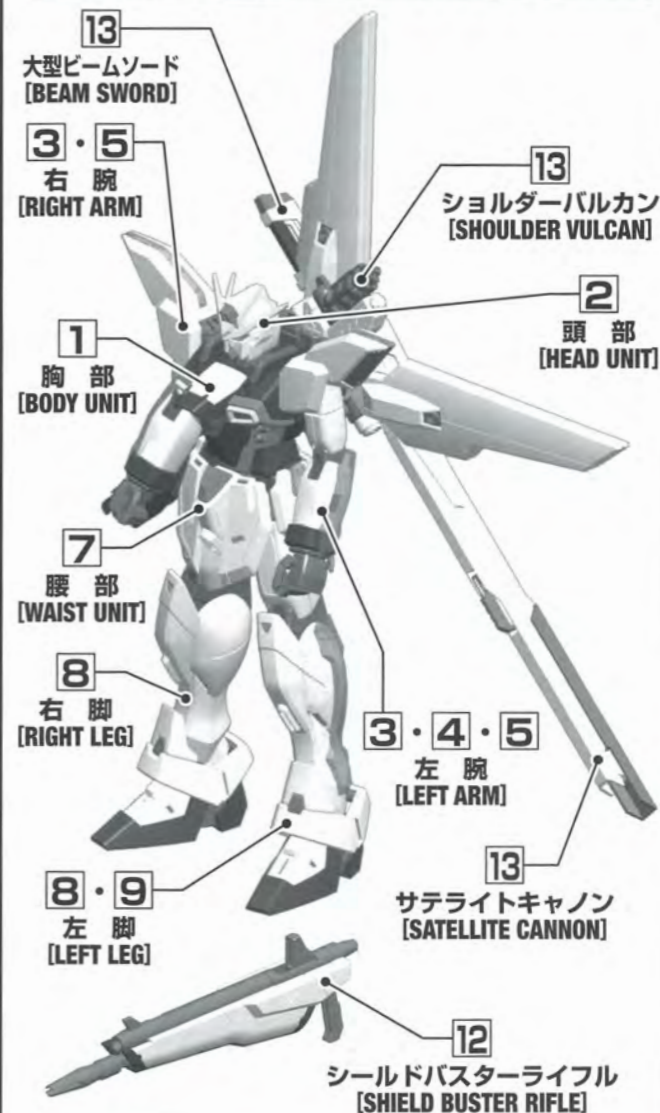
①21ページを参照して、ピンセット等でつまみ、マーキングシールを貼ります。



②浮いている部分は指等で押さえます。

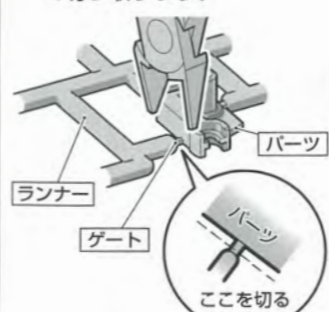


説明書をよく読んで完成させましょう

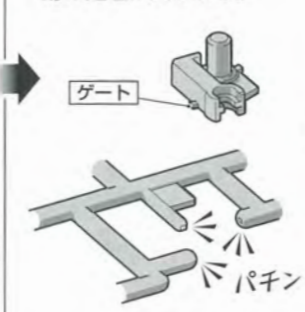


パーツの切り取りかた

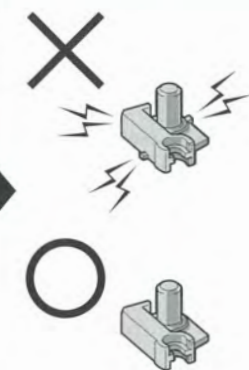
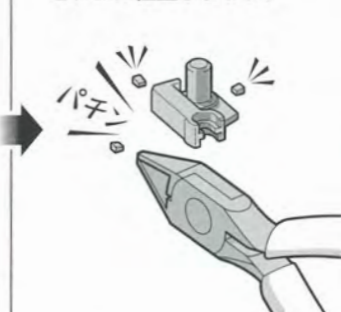
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

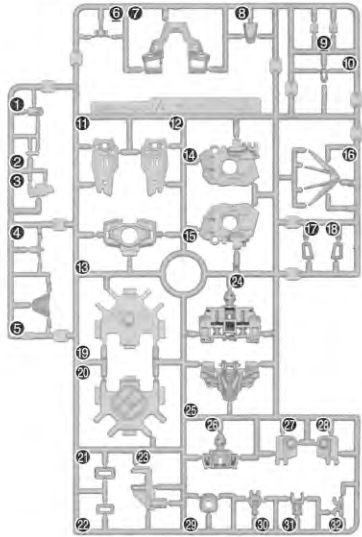
組み立てる時の注意

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

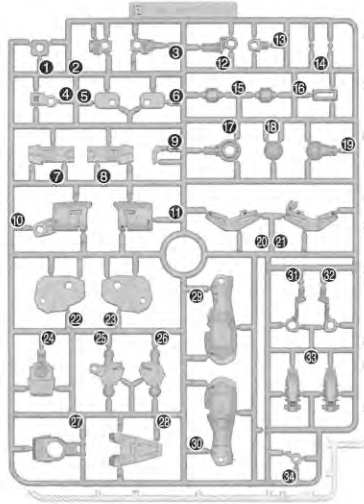
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

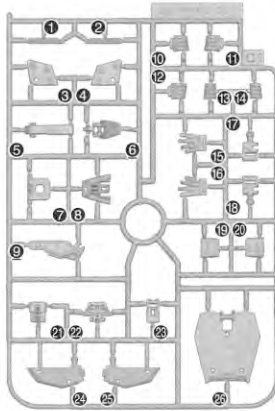
Aパーツ(イロブラ) (スチロール樹脂: PS)



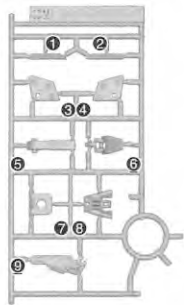
Bパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



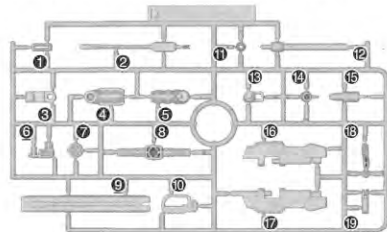
C1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



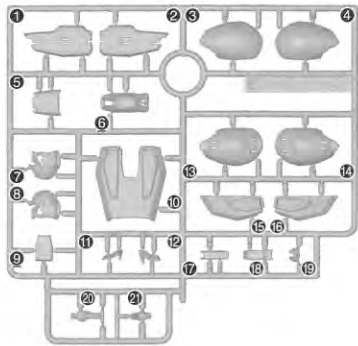
C2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



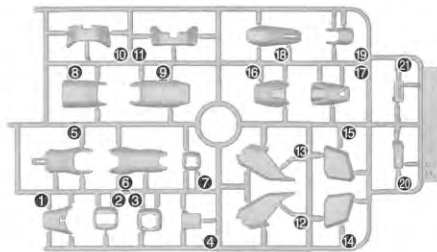
Dパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



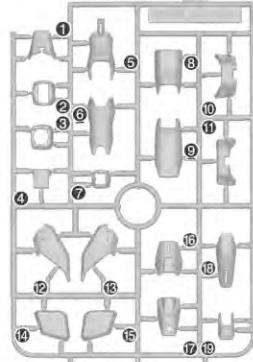
Eパーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



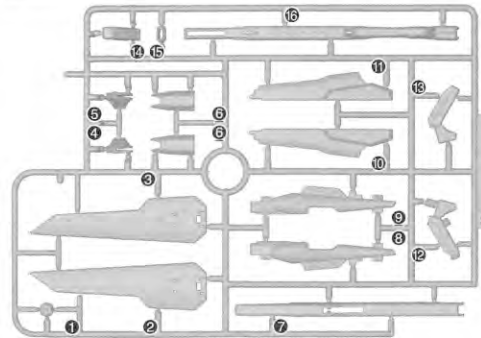
F1パーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



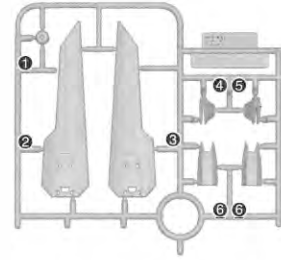
F2パーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



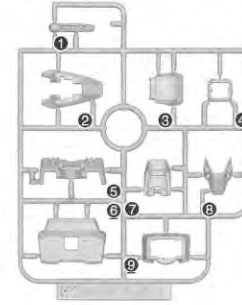
G1パーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



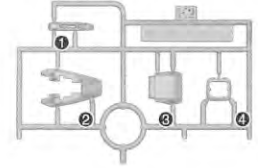
G2パーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



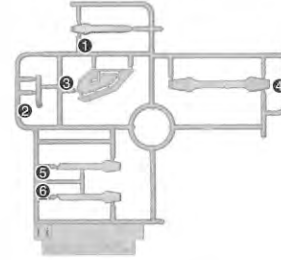
H1パーツ(ダークブルー)
(スチロール樹脂: PS)



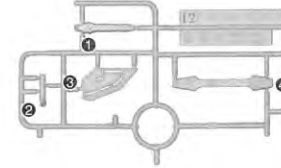
H2パーツ(ダークブルー)
(スチロール樹脂: PS)



I1パーツ(クリアパープル)
(スチロール樹脂: PS)



I2パーツ(クリアパープル)
(スチロール樹脂: PS)



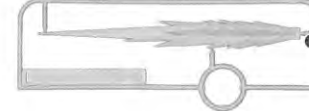
J1パーツ(クリア) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



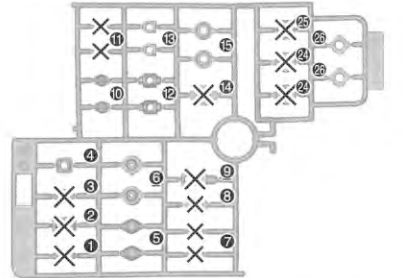
Kパーツ(ブラック)
(スチロール樹脂: PS)



Lパーツ(クリアグリーン)
(スチロール樹脂: PS)



PC-130C(グレー) (ポリエチレン: PE)



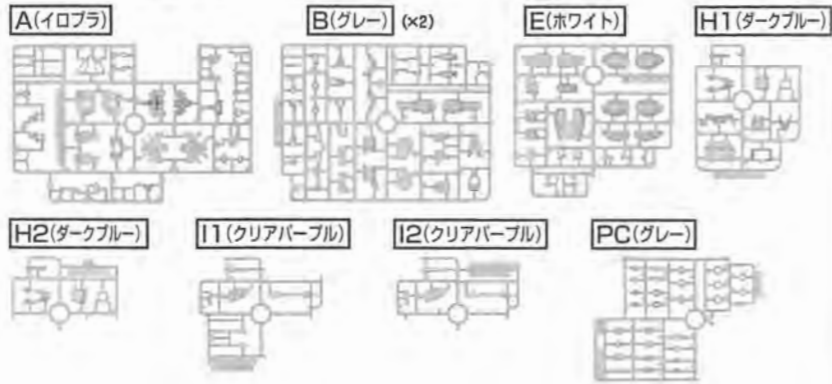
カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ミラーシート……………1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

1 BODY UNIT



・組立1で使用するパーツ

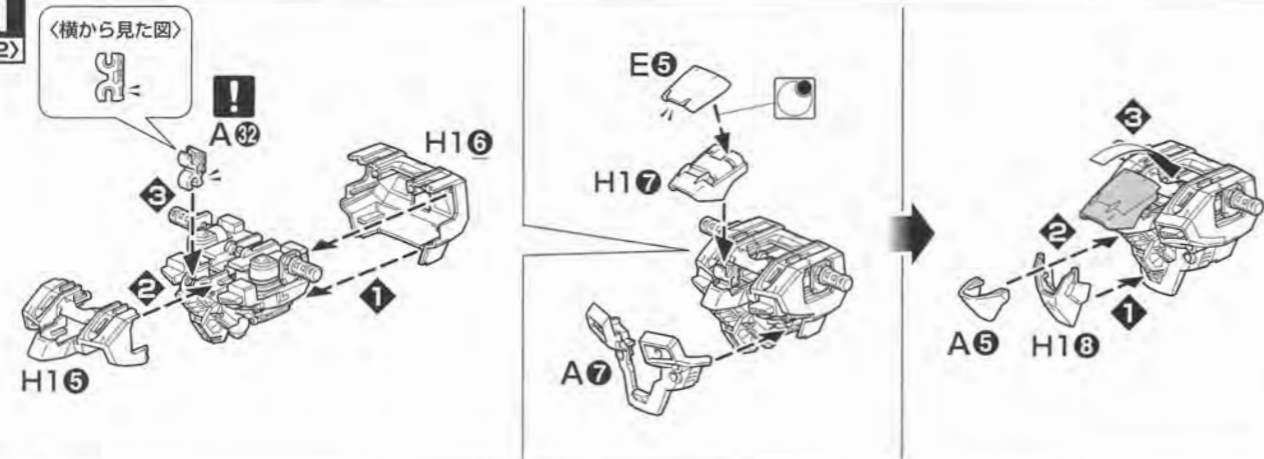


1 (胸部の組立)

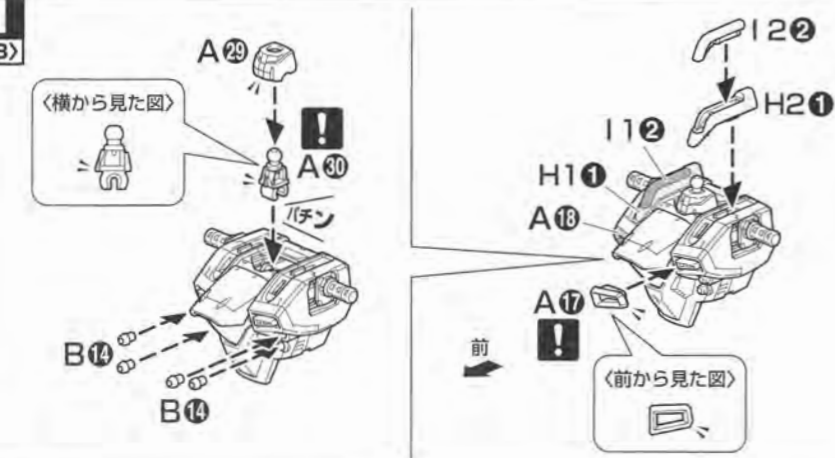
1 (1) BODY UNIT



1 (2)



1 (3)

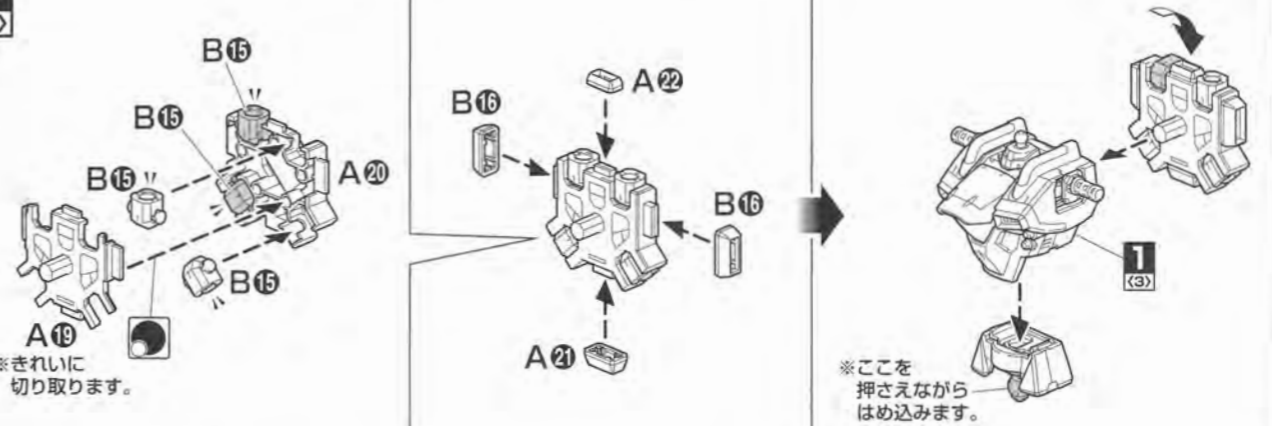


1 (4)



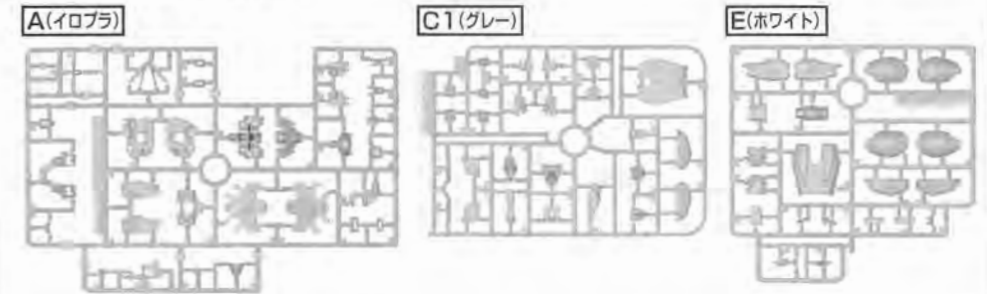
※組立図中の記号説明 向きに注意して組み立てる 先に組み立てる

1 (5)



2 HEAD UNIT

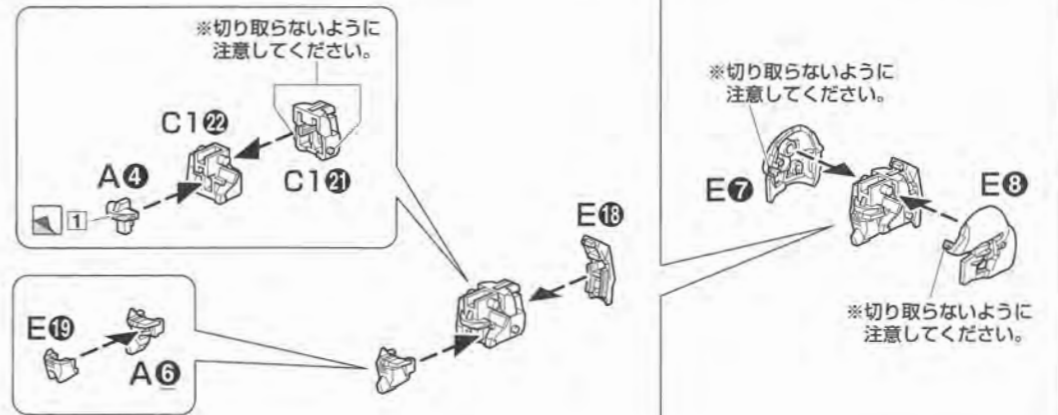
・組立2で使用するパーツ



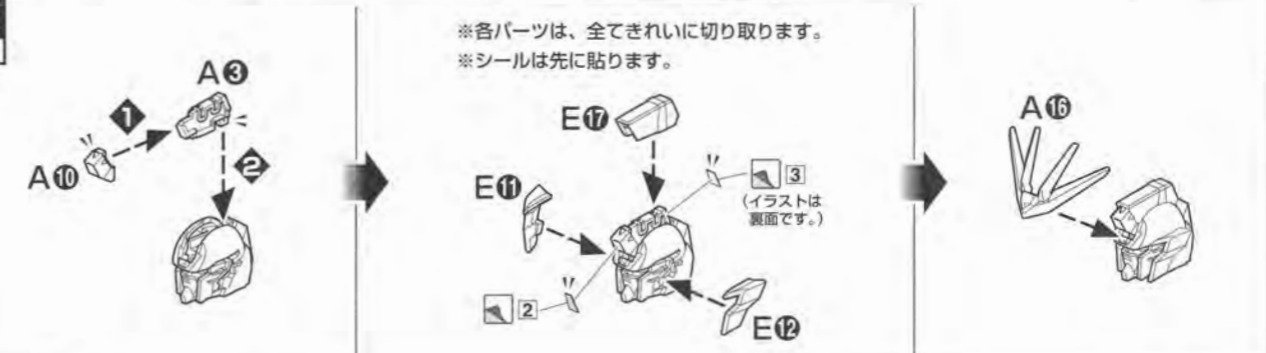
・カラーシール

2 (頭部の組立)

2 (1) HEAD UNIT



2 (2)

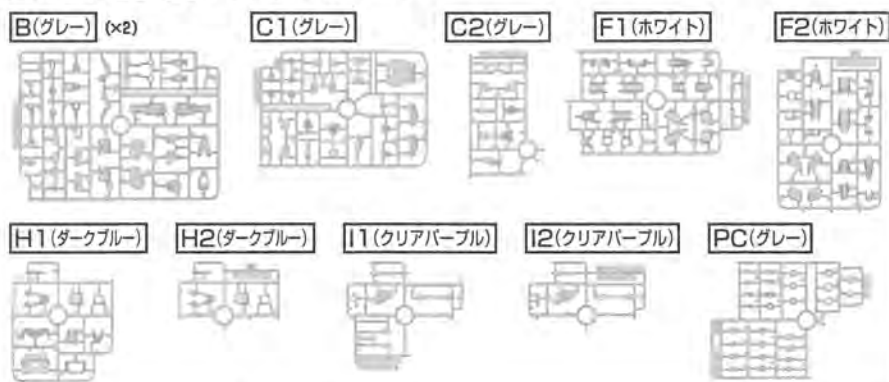


※組立図中の記号説明 後から組み立てる シールの番号

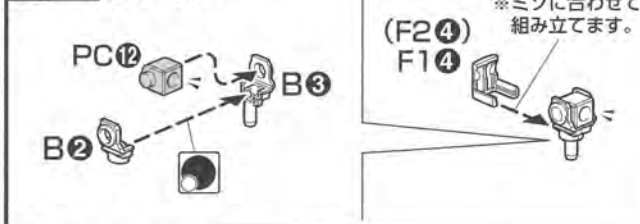
3 4 5 ARM UNIT



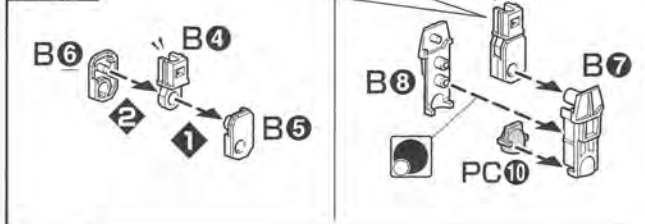
・組立3・4・5で使用するパーツ



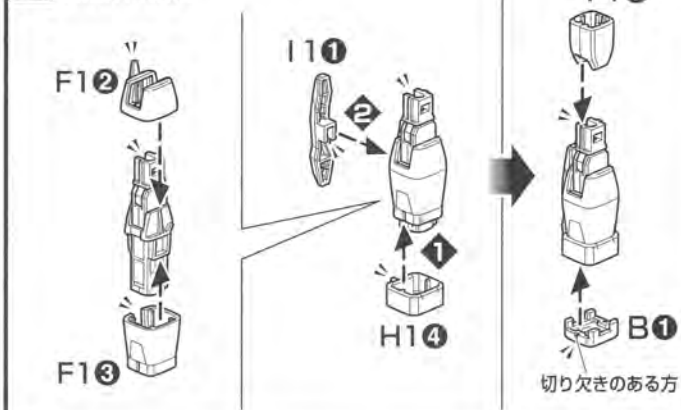
3 (1) (腕部の組立) ARM UNIT



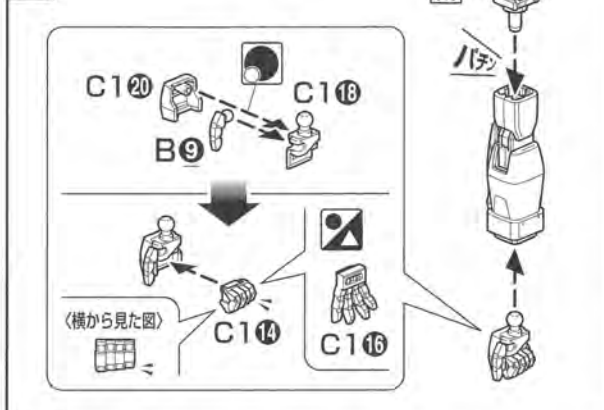
3 (2) (腕部の組立) ARM UNIT



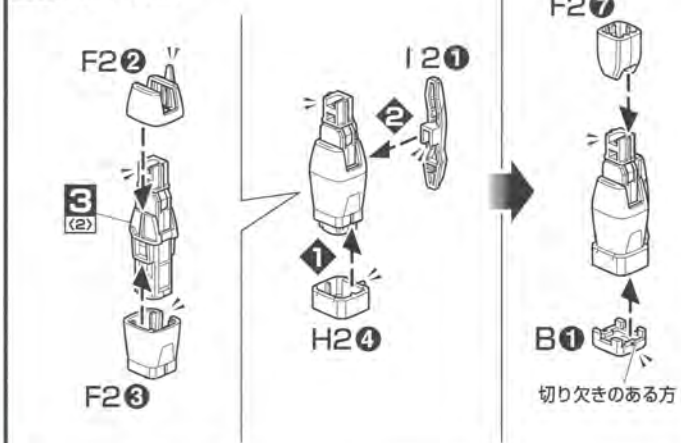
3 (3) (右腕の組立) RIGHT ARM



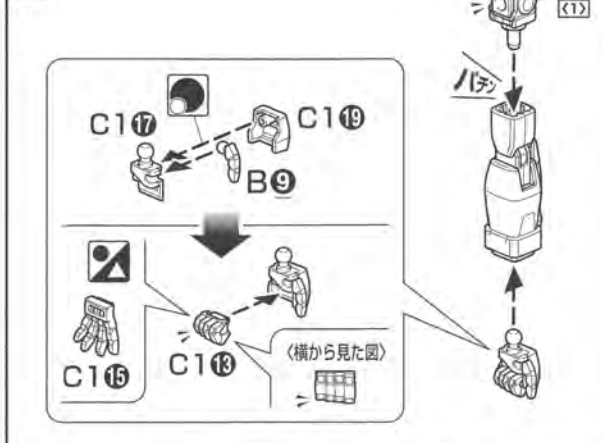
3 (4) (右腕の組立) RIGHT ARM



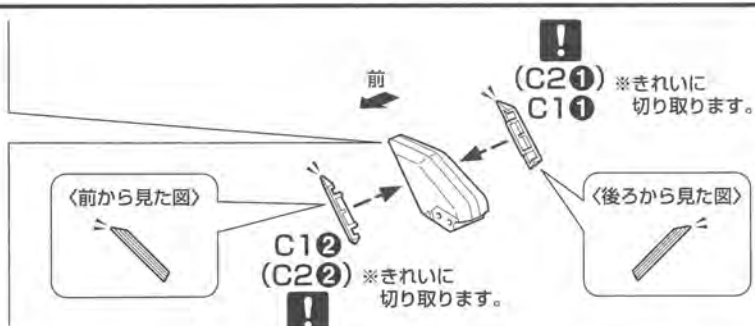
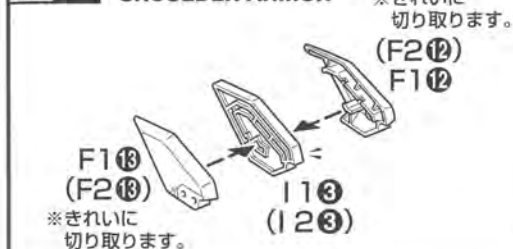
4 (1) (左腕の組立) LEFT ARM



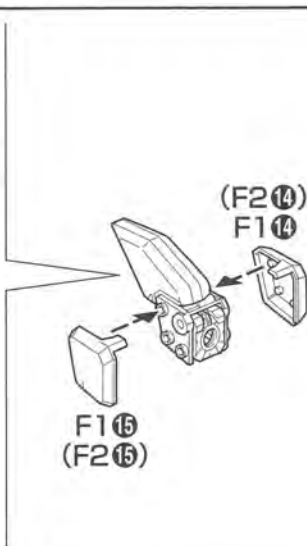
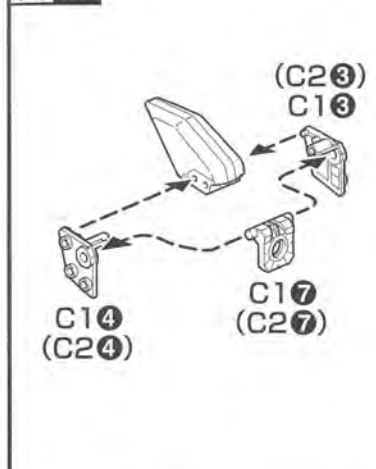
4 (2) (左腕の組立) LEFT ARM



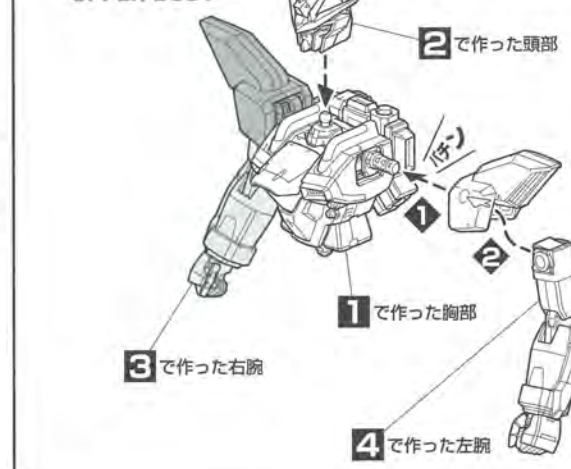
5 (1) (肩アーモアの組立) SHOULDER ARMOR



5 (2) (肩アーモアの組立) SHOULDER ARMOR



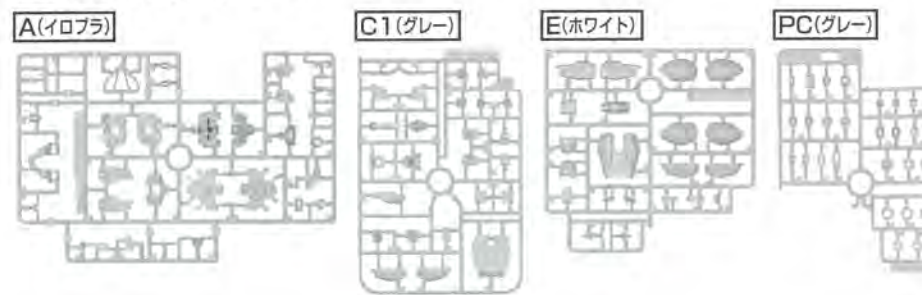
6 (上半身の完成) UPPER BODY



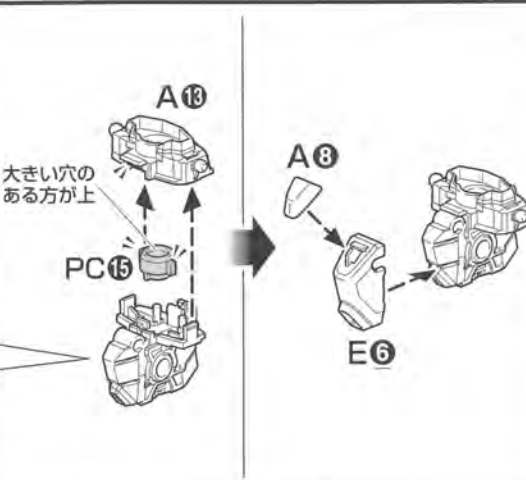
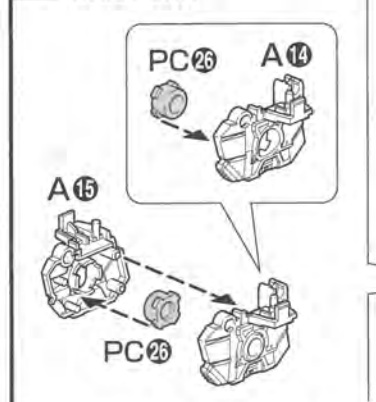
7 WAIST UNIT



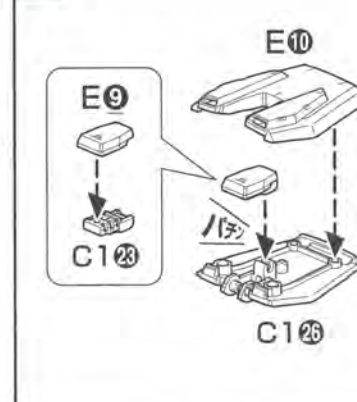
・組立7で使用するパーツ



7 (1) (腰部の組立) WAIST UNIT



7 (2) (腰部の組立) WAIST UNIT



AFTER WAR GUNDAM X



第7次宇宙戦争

かつて、戦争があった。ひとつのコロニーの独立運動に端を発した紛争が、地球全土を巻き込む全面戦争となったのだ。戦争が膠着状態となって8ヶ月。宇宙革命軍は、地球に甚大な被害を及ぼすコロニー落とし作戦を切り札に、地球連邦政府に降伏を迫った。これに対して連邦軍は、極秘に開発していた決戦兵器、MSガンダムを投入。徹底抗戦の構えをとった。フリーデンの艦長ジャミル・ニートは、かつてガンダムXのパイロットだった。彼は地球に迫るコロニーに対し、12機のGXビットと共にサテライトキャノンの一斉射撃を敢行する。だが、この一撃が、人類史上最大の悲劇の引き金となった。勝利を焦った革命軍は作戦を強行。連邦軍も、一歩も退くことなくこれに応戦。戦いは泥沼となり、ついには人類すべての故郷である地球に、致命的なダメージを与えてしまった。100億を誇った人口のほとんどは失われた。もはや、戦争に勝ちも負けもなかった。そして15年の時が流れた。

月は出ているか？

陸上戦艦フリーデンからティファ・アディールを連れ出したガロード・ランは、ティファ奪還の依頼主である謎の紳士ライク・アントを見て怯えるティファの様子に不審を抱き、そのまま逃亡。アント配下のMS部隊に追われることとなる。ティファに導かれるまま、旧連邦の地下工場に逃げ込んだガロードは、そこでガンダムXを発見する。「これで動いたら俺、神様信じる!!」行きがけの駄賃とばかり、フリーデンのロッカーから失敬していたGコンを使ってガンダムXを起動したガロードは、アントのMSドートレス部隊に立ち向かう。「うわあー!!」「なにっ?」瓦礫の中から飛び出し、そのままビームソードを抜き放ったガロードは、手前のドートレスに斬り掛かり、返す刀でアントが駆るドートレス・コマンドをも撃破する。「もう大丈夫だぜティファ……うえっ?」彼女の視線の先には、ティファ奪回のためフリーデンが差し向けた2機のガンダムが立ちはだかっていた。果たして?!



※画像はイメージです。

PAINTING [塗装]

GUNDAM X 指定色

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体などの塗装色
ホワイト(100%)
+ネービーブルー(少量)

頭部アンテナなどの塗装色
イエロー(90%)
+オレンジイエロー(10%)

足先などの塗装色
コバルトブルー(60%)
+ホワイト(20%)
+インディブルー(20%)

手首、ショルダーバルカン
などの塗装色
ニュートラルグレー(80%)
+ブラック(10%) + プルーフグレー(10%)

腹部などの塗装色
シャインレッド(50%)
+モンザレッド(45%)
+ニュートラルブルー(5%)

ライフル(ライン部)
などの塗装色
ブラック(100%)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。

※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※ここに掲載している情報は2014年1月現在のものです。

PILOT ガロード・ラン

- 肌の塗装色
薄茶色(100%)
- シャツの塗装色
ホワイト(100%)
- ジャケット 赤部の塗装色
シャインレッド(90%)
+ウッドブラウン(10%)
- ジャケット フリーム色部の塗装色
ホワイト(100%) + イエロー(少量)
+ オレンジイエロー(少量)
- 髪色の塗装色
ブルーグレー(50%) + ホワイト(30%)
+ インディブルー(10%)
+ デイトナグリーン(10%)
- ズボンの塗装色
ホワイト(80%)
+ プルーフグレー(10%)
+ インディブルー(10%)

- 靴の塗装色
ブルーグレー(100%)
- ウエストポーチの塗装色
ブルーグレー(85%)
+ インディブルー(15%)

- パイロットスーツの塗装色
ホワイト(100%)
+ エメラルドグリーン(少量)
- ブラックの塗装色
ミッドナイトブルー(100%)
- 手、監視グレーの塗装色
プルーフグレー(100%)
- ヘルメットのバイザーの塗装色
ペールグリーン(50%)
+ エメラルドグリーン(50%)
- 黄色部の塗装色
オレンジイエロー(60%)
+ ホワイト(40%)



ガロード・ラン

ガロード・ラン
パイロットスーツ

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]



[after]

GX-9900 GUNDAM X



SHOULDER VULCAN

ショルダーバルカン

陸戦に対応するため、他のMSのものを用いて増設した武装。

SATELLITE CANNON

サテライトキャノン

本来はコロニー撃滅兵器として開発された超高出力砲で、それをMSが運用できる大きさまで小型化したもの。複数の同系機を連携させることで、面制圧、掃討、拠点防衛や要撃など、多様な戦術に対応した運用が可能。月面の太陽光発電基地で発生させたSMW(スーパーマイクロウェーブ)を背部のリフレクターに収束させ、充填したエネルギーをダイレクトに発射することが可能で、一瞬にして広範囲を殲滅する。エネルギーの充填は機体各所に分散配置されたエネルギーコンダクターと呼ばれるユニットでも行われており、バックパックと併用してエネルギーを蓄積する機能がある。さらに、バックパックを介して各武装にエネルギーを供給する機能も持っている。フルチャージ後にSMWとの接続が断たれても2~3射撃が可能とする説もある。また、ビームソードやライフルの稼働にも対応しており、サテライトキャノンを使用しない通常の戦闘であれば、一週間程度の無補給戦闘能力を持つが、パイロットの方が先に限界を迎えるため、実戦においてそのような運用がなされた記録は無い。かつてはSMWの中継設備が月軌道内に複数存在していたため、例えば地球の裏側であっても稼働できたが、A.W.0015年時点ではそのすべてが破壊されたか稼働不能であるため、稼働可能な領域は直接月を臨める範囲に限定されている。

BEAM SWORD

大型ビームソード

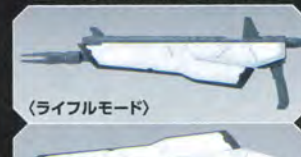
サテライトキャノンの基部にマウントされている近接戦闘用の斬撃用装備。SMWによるエネルギーの使用が前提であるため、その出力も極めて高く設定され、一撃でMSを両断できるほどの威力を持つ。



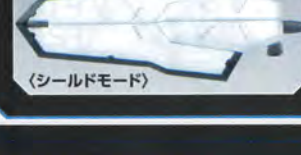
SHIELD BUSTER RIFLE

シールドバスターライフル

武器と防具の機能を合わせ持つため、兵器としては通常のMS用のものの3倍の強度をもつ。サテライトシステムのエネルギーを使用可能で、エネルギーの充填はサテライトシステムの下部に装着して行う。



〈ライフルモード〉



〈シールドモード〉



HOVERING MODE

ホバーリングモード

リフレクターユニットは、ハニカム構造のレシーバーデバイスからエネルギーコンダクターに蓄積したエネルギーを放出することも可能で、物理的に反発力を発生させることで推進力としても転用できる。ホバーリングモードにすれば、機体を長距離ジャンプさせることができ、エネルギーの供給が途切れなければ、実質的に「飛行」と呼んでも差し支えない距離を移動することができる。その際、システムの全体を後方に展開し、砲身を下方にセッティングすることで、機体の機動をコントロールする。

COCKPIT

コクピット

コクピットへの昇降は胸部上面に設置されているハッチから行う。上部の装甲がスライドしてクリアランスを確保した後、内部の機密ハッチが解放される。シート後部にはFシステムのピックアップデバイスが装備されており、また、胸部前面装甲内にはSMWとのリンクを確立するための照準用ガイドレーザーユニットが内蔵されている。



BREAST VULCAN

ブレストバルカン

胸部に装備された4門のバルカン砲。近接戦闘における直接的な打撃、および中距離での威嚇や牽制にも有効。

「バンダイプラモデルアクションベース1」(別売り)を使用しています。

7
(3)

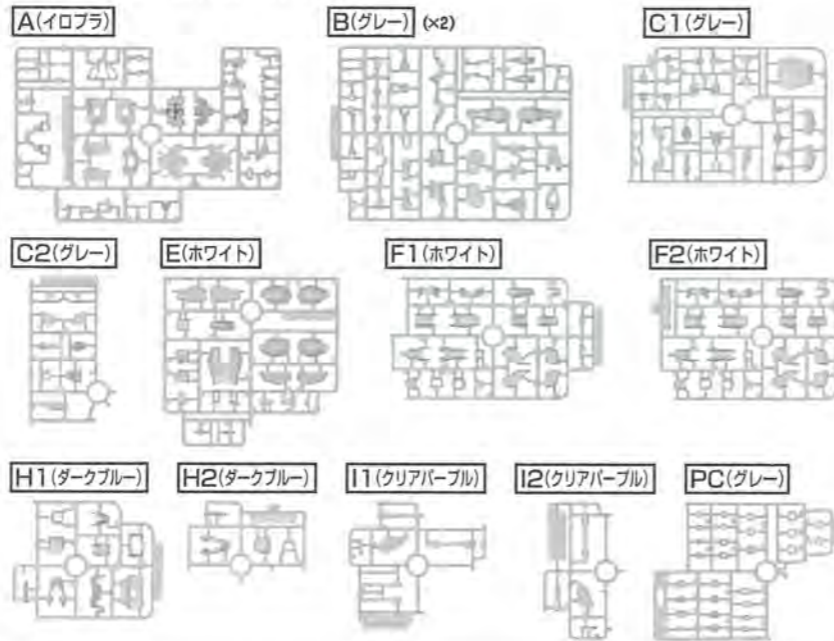
向きをかえます。
※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。

8 9 LEG UNIT



・組立**8**・**9**・**10**で使用するパーツ



8
(1) **x2** 【脚部の組立】
LEG UNIT

※きれいに切り取ります。

8
(2) **x2**

8
(3) **x2**

※切り取らないように注意してください。

※切り取らないように注意してください。

〈内側から見た図〉

8
(5) **x2**

8
(6) **x2**

8
(8)

※ミソに合わせて組み立てます。

8
(7) 【右脚の組立】
RIGHT LEG

9 【左脚の組立】
(1) LEFT LEG

※ミソに合わせて組み立てます。

9 (2)

10 (下半身の完成) LOWER BODY

※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。

向きをかえます。

7で作った腰部

8で作った右脚

9で作った左脚

A1 E1 I16

E2 A12 I15

11 (完成) FINAL ASSEMBLY

6

12 (3)

D10 D11 D12

12 (4)

G10 G11 K1 K2

向きをかえます。



・組立 12・13・14・15 で使用するパーツ

A(イロプラ) B(グレー) (x2) C1(グレー)

D(グレー) E(ホワイト) F1(ホワイト) G1(ホワイト)

G2(ホワイト) J1(クリア) (x2) K(ブラック) L(クリアグリーン)

PC(グレー)

・カラーシール
・ミラーシート

13 x2 (1) (サテライトキャノンの組立) SATELLITE CANNON

ミラーシートB (イラストは裏面です。)

G16 B33 G12 (G22)

J2 ※きれいに切り取ります。

G16 (G26)

13 (3)

G14 (G24) B32 D8

12 (1) (シールドバスターライフルの組立) SHIELD BUSTER RIFLE

B34 D16 D17

! B34

〈横から見た図〉

12 (2)

D19 A2

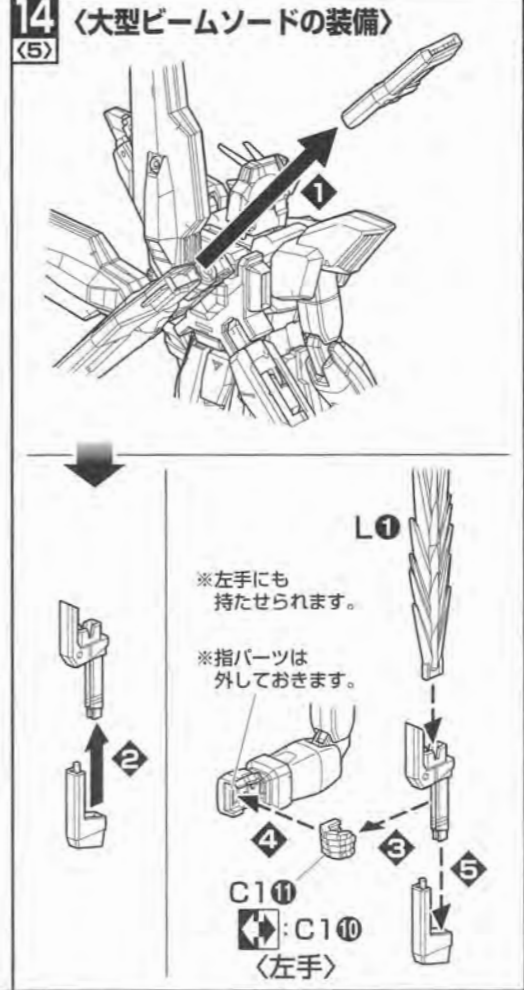
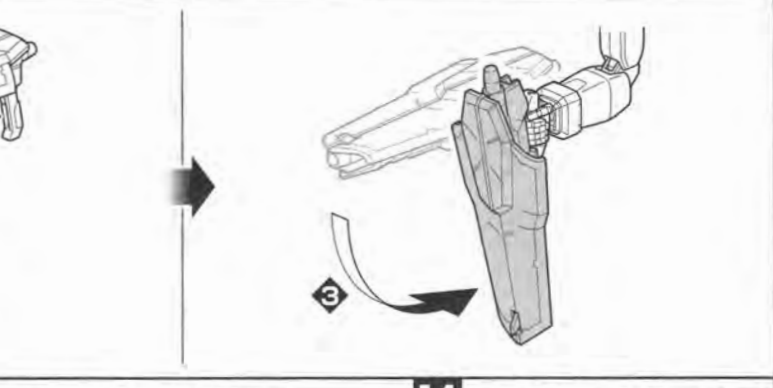
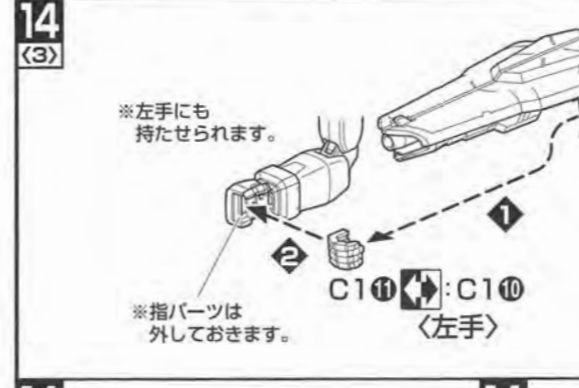
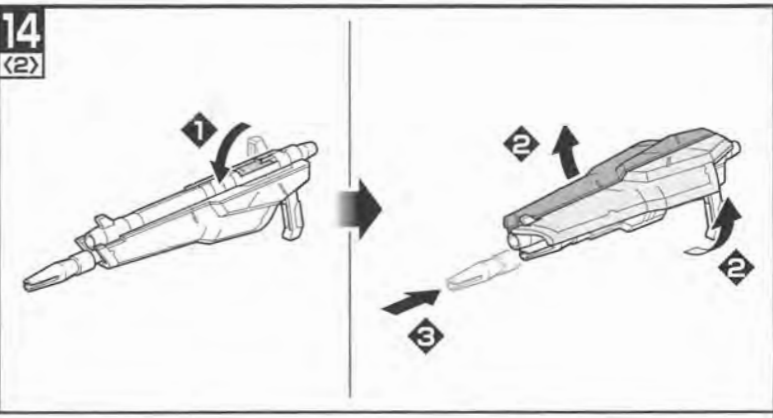
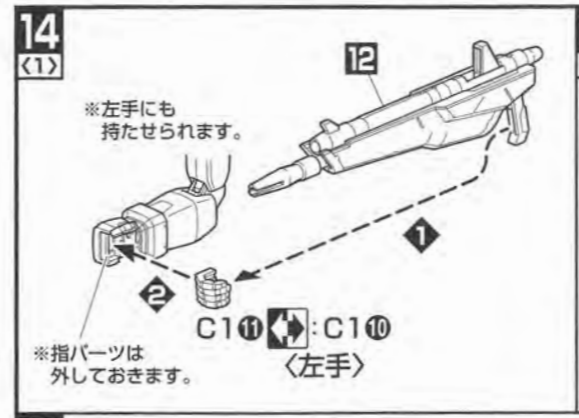
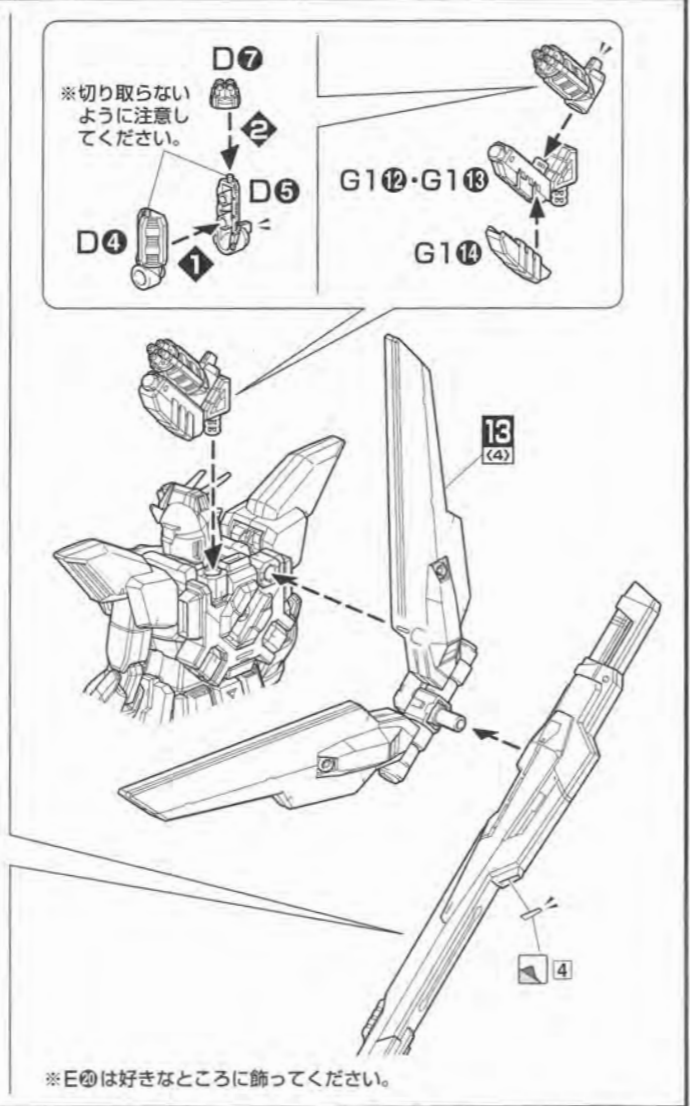
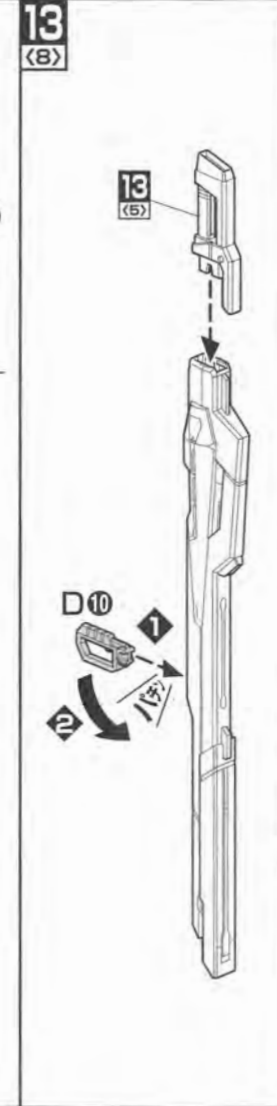
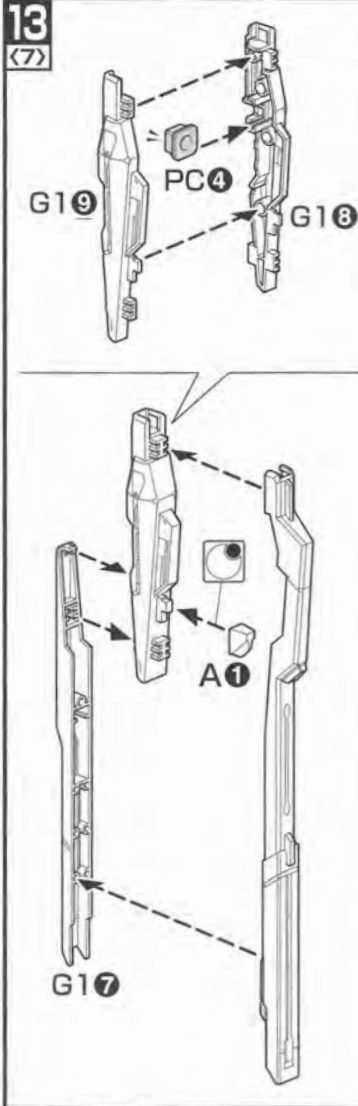
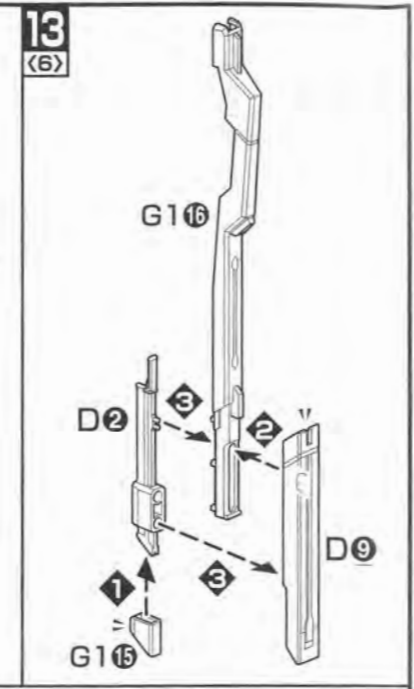
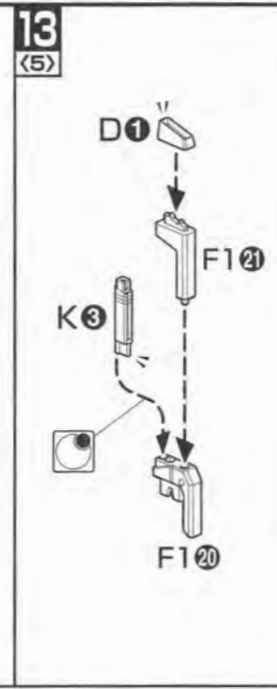
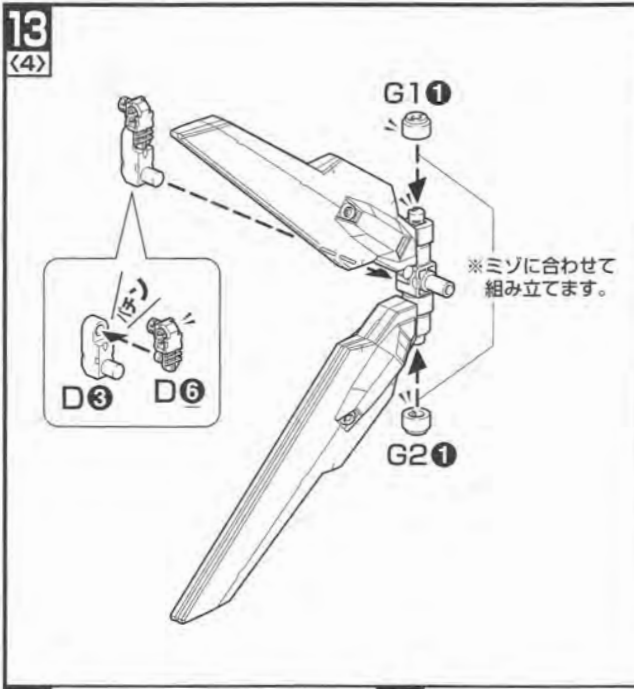
※きれいに切り取ります。

13 x2 (2)

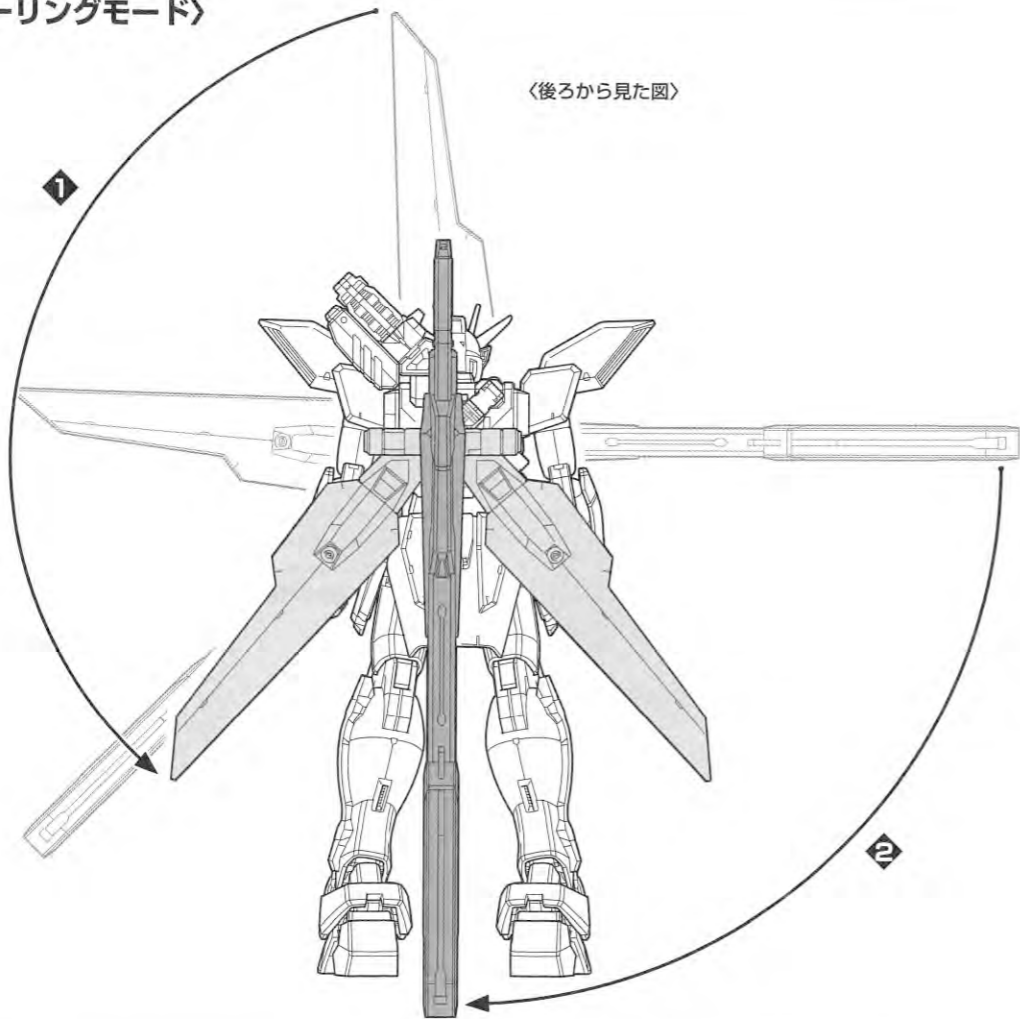
ミラーシートA (イラストは裏面です。)

G13 (G23) B33 G26

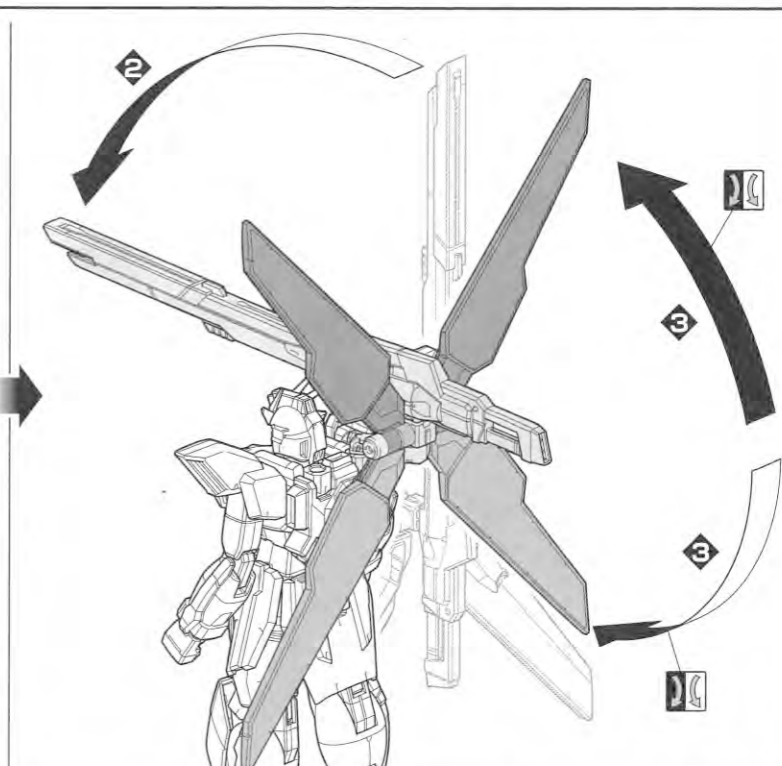
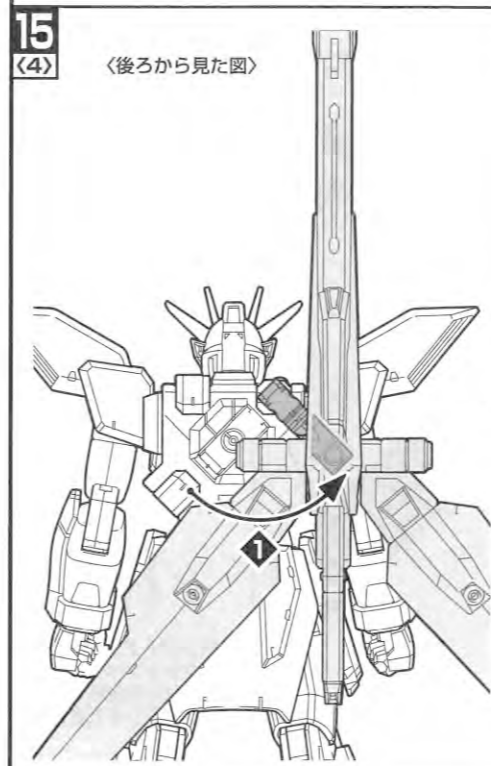
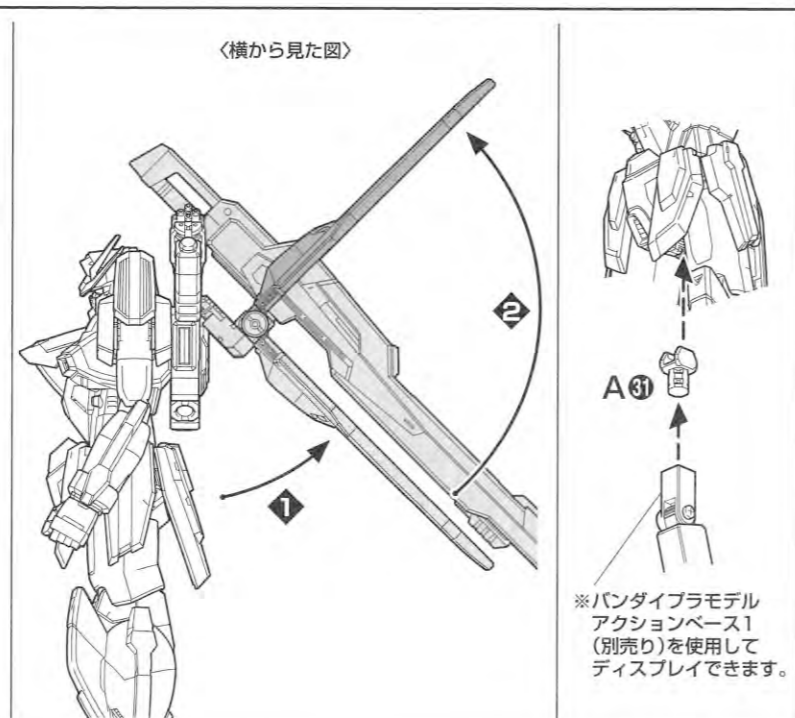
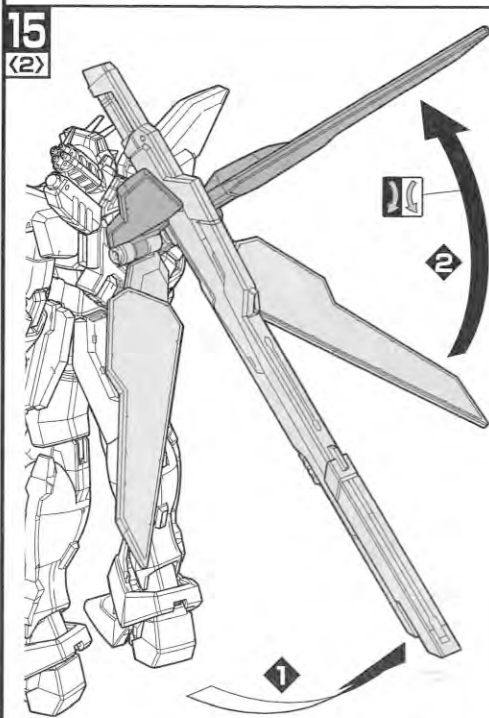
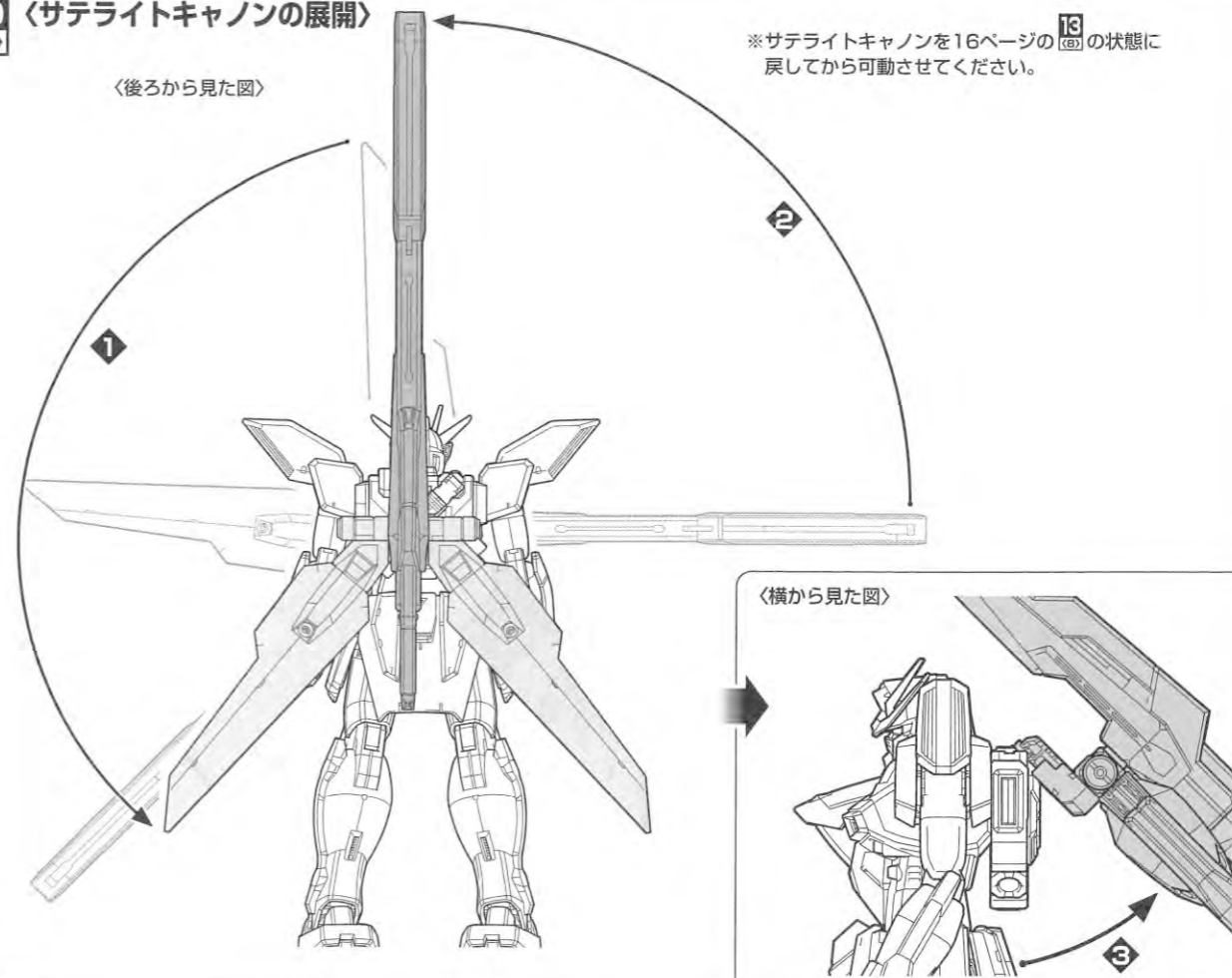
J1 ※きれいに切り取ります。

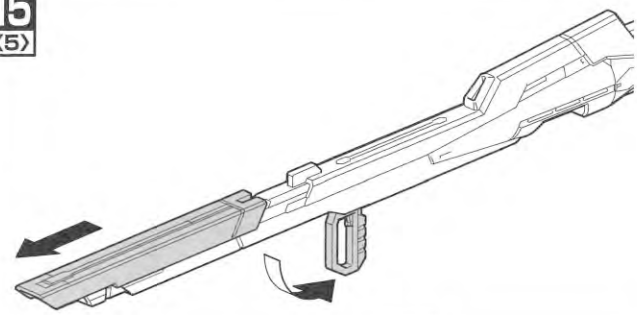


15 <ホバーリングモード>
(1)

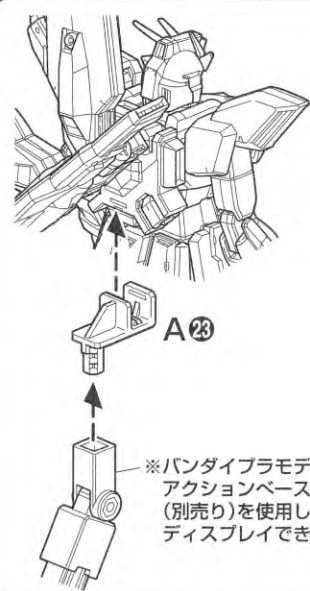
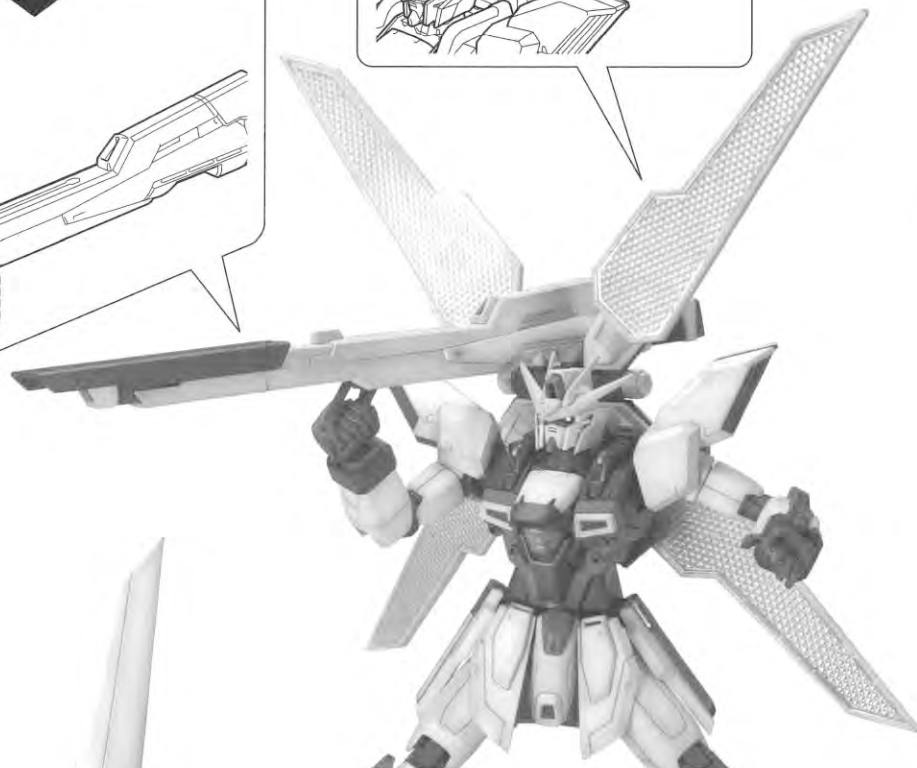
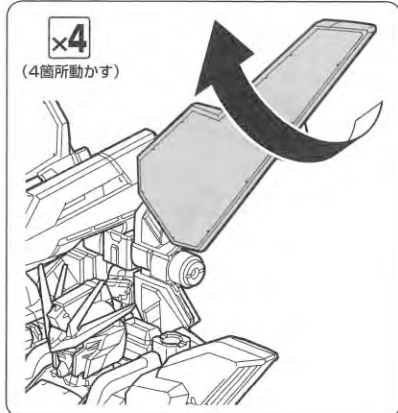
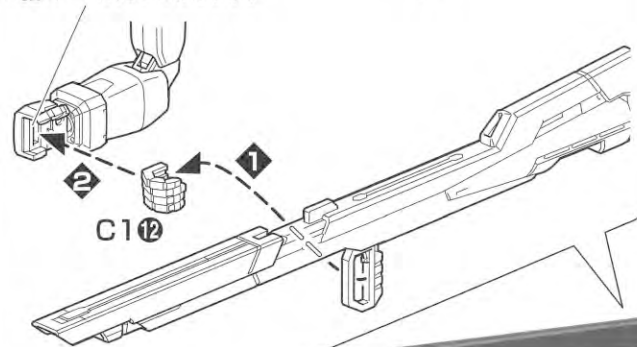


15 <サテライトキャノンの展開>
(3)





※指パーツは外しておきます。



※バンダイプラモデル
アクションベース1
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

※画像の完成品は
塗装してあります。

※画像はバンダイプラモデル
アクションベース1(別売り)
を使用しています。

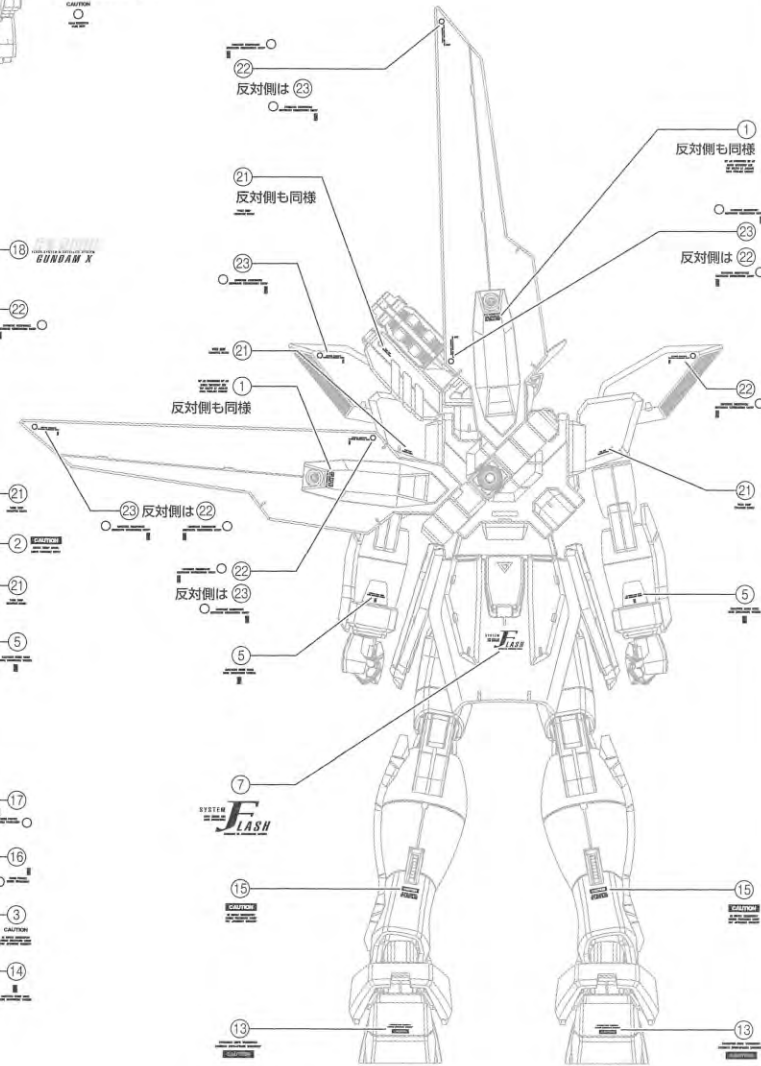
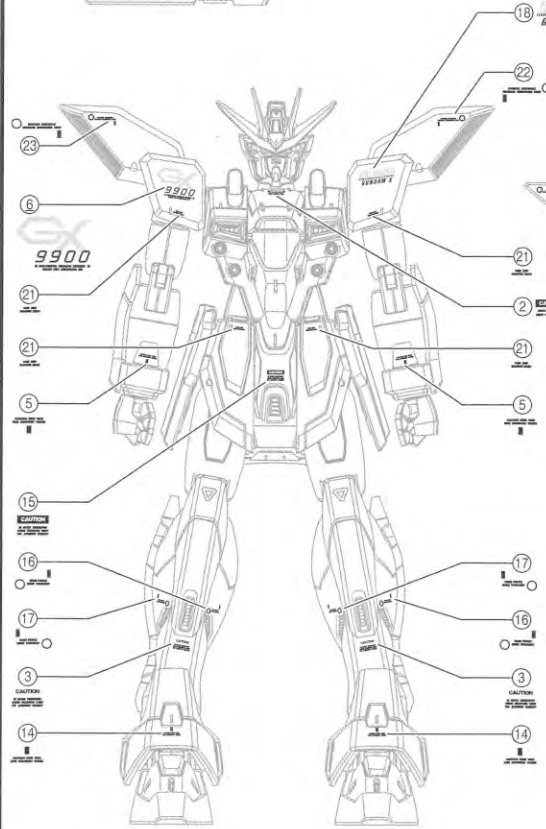
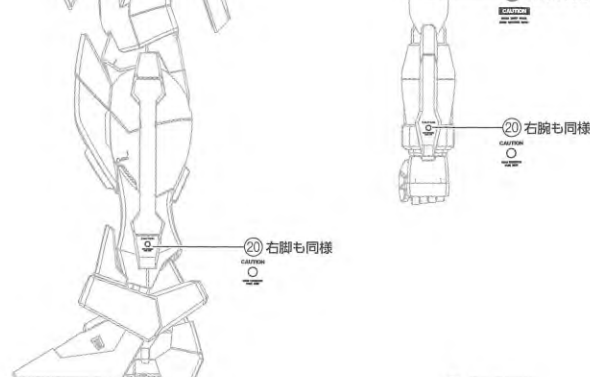
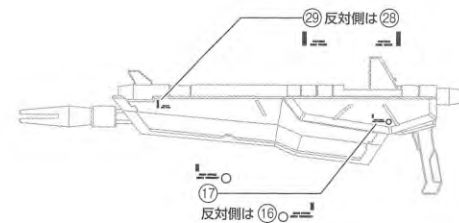
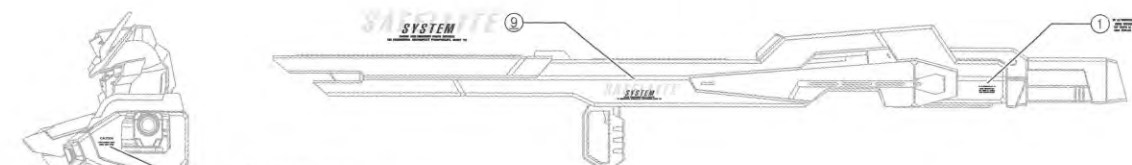
※組立図中の
記号説明

x4 部品を数値の
個数作る

Seal

(シール) 下の図を見て、マーキングシールの貼る位置を確認してください。

このマーキングシールはプラモデルオリジナルのもので、
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。